

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月30日

上場会社名 株式会社グローバルキッズCOMPANY 上場取引所 東
コード番号 6189 URL https://www.gkids.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中正 雄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 野田 雅之 (TEL) 03-3221-3770
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	13,809	11.5	750	41.7	339	118.7	330	122.9	190	93.7
2023年9月期第2四半期	12,379	1.0	529	△33.5	155	△58.0	148	△59.3	98	△55.4

(注1) 包括利益 2024年9月期第2四半期 186百万円(75.1%) 2023年9月期第2四半期 106百万円(△55.2%)

(注2) EBITDA (営業利益+減価償却費)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年9月期第2四半期	20	27	20	19
2023年9月期第2四半期	10	48	10	44

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	20,156	39.8	8,021	39.8	8,021	39.8
2023年9月期	16,675	48.6	8,104	48.6	8,104	48.6

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 8,021百万円 2023年9月期 8,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年9月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	26,000	3.4	450	31.9	480	49.5	190	—	20	18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA 1,300百万円

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期2Q	9,452,752株	2023年9月期	9,429,141株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	15,823株	2023年9月期	15,823株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期2Q	9,422,446株	2023年9月期2Q	9,404,762株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

子育て支援事業を取り巻く状況は、共働き世帯数の増加や女性の就業率上昇により保育所利用者数及び保育施設数の増加が続いていましたが、2023年4月の待機児童数が2,680人と前年比264人減少したほか、2022年の出生数が統計を取り始めた1899年以来初めて80万人を割るなど、外部環境が変化しております。

一方、政府は子どもに関する政策を一元化し社会の中心に据える「こどもまんなか社会」を掲げ、家庭を取り巻く諸問題に本格的に取り組む「こども家庭庁」を2023年4月に設置するなど、関連施策を推進しています。また、2023年12月に閣議決定された「こども未来戦略」には、76年ぶりとなる保育士の配置基準の見直しや保育士の処遇改善を進めることなどが盛り込まれています。

このように子育て支援事業を取り巻く外部環境が大きく変化する中、当社グループは2021年11月12日に「中期経営計画2024」を公表しており、3カ年計画の最終年度に当たる当連結会計年度も引き続き「規模拡大」「機能拡充」「基盤強化」の3つの施策を骨子とした取り組みを進めております。

「規模拡大」の具体策として2023年4月18日に、当社グループが注力する東京都認可保育所を中心に展開する株式会社おはようキッズ(旧東京建物キッズ株式会社)の全株式を取得する株式譲渡契約を締結し、同年6月1日付で完全子会社化いたしました。2024年4月1日に実施した事業譲渡及び株式譲渡により、運営施設数は減少しますが、運営施設数に占める認可保育所の割合は約81.9%から88.7%へと上昇しました。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係) 及び(重要な後発事象)」をご参照ください。

また「機能拡充」を企図した新規事業強化等による収益源の多様化推進のためにはグループ本社機能の再編による生産性向上が不可欠と判断し、2023年4月1日を効力発生日として株式会社グローバルキッズの子育て支援事業の一部を株式会社GKSへ承継いたしました。加えて、本社機能の効率化や更なる業務品質向上を目指し新たな人事システムの導入や会計システムの刷新に着手しております。

「基盤強化」の施策としてはICT戦略の要点である子育てプラットフォーム開発を進めており、積極的な投資を継続しております。加えて習い事事業「GlobalKids Plus+」についても2023年6月に豊洲で開講しました。また、2024年4月には豊島区の認証保育所1施設をシンガポールのインターナショナル幼稚園であるEis International Pre-Schoolと連携し、インターナショナルプレスクールとしてリニューアルオープンいたしました。

当第2四半期連結会計期間末時点における運営施設数は、認可保育所154施設(東京都115施設、神奈川県29施設、千葉県4施設、埼玉県1施設、大阪府5施設)、認証保育所・認定こども園等保育施設19施設、学童クラブ・児童館10施設の計183施設となります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、おはようキッズの完全子会社化や利用定員見直しに加え、人事院勧告改定に伴う公定価格の上昇、一過性の補助金計上等により売上高が前年同期に比べ増加しました。

売上原価率は、採用費削減や食材費減少等の寄与により大幅に改善、前年同期比1.3ポイント低下しました。販売管理費は、戦略的に積み増しているICT費用の影響により増加しましたが、売上高増加や売上原価率改善が収支改善に寄与しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高13,809百万円(前年同期比11.5%増)、EBITDA750百万円(同41.7%増)、営業利益339百万円(同118.7%増)、経常利益330百万円(同122.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益190百万円(同93.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3,481百万円増加し20,156百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ3,731百万円増加し8,484百万円となりました。これは、現金及び預金が3,685百万円増加したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ250百万円減少し11,671百万円となりました。これは、新園開設に向けた建設仮勘定が96百万円増加した一方で、建物及び構築物（純額）が321百万円減少したことが主因です。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比べ3,563百万円増加し12,134百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ4,072百万円増加し7,724百万円となりました。これは、短期借入金が4,050百万円増加したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ509百万円減少し4,409百万円となりました。これは、長期借入金が556百万円減少したことが主因です。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ82百万円減少し8,021百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により190百万円増加した一方で、第8期期末配当金により282百万円減少したことが主因です。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、5,044百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、695百万円（前第2四半期連結累計期間は1,043百万円の増加）となりました。これは、未収入金及び契約資産の増加117百万円の方で、非資金損益項目である減価償却費410百万円の発生が主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して348百万円減少しております。これは、未収入金及び契約資産の増加により476百万円減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、128百万円（前第2四半期連結累計期間は3百万円の減少）となりました。これは、敷金及び保証金の回収による収入42百万円、建設協力金の回収による収入48百万円の方で、有形固定資産の取得による支出が221百万円発生したことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して125百万円減少しております。これは、有形固定資産の取得による支出が203百万円増加したこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、3,119百万円（前第2四半期連結累計期間は2,587百万円の増加）となりました。これは、短期借入金が純額で4,050百万円増加したことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して531百万円増加しております。これは、長期借入れの返済による支出が2,547百万円増加した一方で、短期借入金の純増額が850百万円、長期借入れによる収入が2,276百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期通期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました予想に変更はありません。

なお、2024年4月1日付適時開示「（開示事項の経過）連結子会社における事業譲渡及び株式譲渡完了に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、事業譲渡及び株式譲渡に伴う固定資産売却損約200百万円（概算）を2024年9月期第3四半期会計期間において特別損失として計上する予定です。当損失については2024年9月期通期の業績予想に織り込み済みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,359	5,044
未収入金及び契約資産	2,589	2,707
前払費用	708	707
未収還付法人税等	86	—
その他	9	25
流動資産合計	4,753	8,484
固定資産		
有形固定資産		
土地	692	692
建物及び構築物(純額)	8,145	7,824
建設仮勘定	—	96
その他(純額)	255	322
有形固定資産合計	9,093	8,937
無形固定資産		
ソフトウェア	276	243
ソフトウェア仮勘定	23	63
無形固定資産合計	299	306
投資その他の資産		
投資有価証券	27	27
長期前払費用	293	248
敷金及び保証金	1,878	1,837
建設協力金	247	205
繰延税金資産	81	104
その他	0	3
投資その他の資産合計	2,528	2,427
固定資産合計	11,921	11,671
資産合計	16,675	20,156
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	4,050
1年内返済予定の長期借入金	949	858
未払金	1,445	1,660
未払法人税等	223	151
前受金	135	58
賞与引当金	629	563
その他	268	383
流動負債合計	3,652	7,724
固定負債		
長期借入金	3,026	2,470
退職給付に係る負債	508	550
繰延税金負債	965	970
資産除去債務	414	415
その他	3	3
固定負債合計	4,918	4,409
負債合計	8,571	12,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,302	1,309
資本剰余金	1,991	1,997
利益剰余金	4,836	4,745
自己株式	△12	△12
株主資本合計	8,118	8,040
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△14	△18
その他の包括利益累計額合計	△14	△18
純資産合計	8,104	8,021
負債純資産合計	16,675	20,156

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	12,379	13,809
売上原価	11,416	12,555
売上総利益	963	1,253
販売費及び一般管理費	807	913
営業利益	155	339
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
補助金収入	—	4
雑収入	9	1
営業外収益合計	10	6
営業外費用		
支払利息	8	11
雑損失	9	4
営業外費用合計	17	16
経常利益	148	330
特別損失		
固定資産除却損	0	0
閉園に伴う損失	—	※1 18
特別損失合計	0	19
税金等調整前四半期純利益	148	310
法人税等	49	119
四半期純利益	98	190
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	190
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	7	△4
その他の包括利益合計	7	△4
四半期包括利益	106	186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106	186
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	148	310
減価償却費	374	410
閉園に伴う損失	—	18
補助金収入	—	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△66
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48	45
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	8	11
未収入金及び契約資産の増減額 (△は増加)	358	△117
前払費用の増減額 (△は増加)	29	12
未払金の増減額 (△は減少)	224	210
前受金の増減額 (△は減少)	△62	△81
その他	90	62
小計	1,198	811
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△8	△11
補助金の受取額	—	4
法人税等の支払額	△147	△109
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,043	695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17	△221
有形固定資産の売却による収入	0	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△15
敷金及び保証金の回収による収入	5	42
建設協力金の回収による収入	10	48
その他	—	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,200	4,050
長期借入れによる収入	—	2,276
長期借入金の返済による支出	△377	△2,924
リース債務の返済による支出	△0	△0
ストックオプションの行使による収入	0	0
配当金の支払額	△234	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,587	3,119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,628	3,685
現金及び現金同等物の期首残高	1,303	1,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,931	5,044

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 閉園に伴う損失

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

事業譲渡及び株式譲渡の対象施設に所属している従業員への割増退職金14百万円を閉園に伴う損失に計上いたしました。事業譲渡及び株式譲渡の詳細につきましては「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係) 及び(重要な後発事象)」をご参照ください。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(株式会社SHINKS-Kへの譲渡)

当社の連結子会社である株式会社おはようキッズは保育施設2施設を株式会社SHINKS-Kへ譲渡いたしました。

(1) 譲渡先企業の名称

株式会社SHINKS-K

(2) 譲渡する事業の内容

横浜市小規模保育施設1施設及び企業主導型保育施設1施設

(3) 譲渡完了日

2024年3月31日

(4) 譲渡価額

無償

(重要な後発事象)

(事業譲渡)

(社会福祉法人すくすくどろんこの会への譲渡)

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズは保育施設6施設を社会福祉法人すくすくどろんこの会へ譲渡いたしました。

(1) 譲渡先企業の名称

社会福祉法人すくすくどろんこの会

(2) 譲渡する事業の内容

大阪認可保育所5施設及び上尾市内小規模保育施設1施設

(3) 譲渡完了日

2024年4月1日

(4) 譲渡価額

無償

(株式会社SHINKS-Kへの譲渡)

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズは保育施設6施設を株式会社SHINKS-Kへ譲渡いたしました。

(1) 譲渡先企業の名称

株式会社SHINKS-K

- (2) 譲渡する事業の内容
東京都認証保育所 6 施設
- (3) 譲渡完了日
2024年 4 月 1 日
- (4) 譲渡価額
無償

(株式譲渡)

(株式会社SHINKSへの譲渡)

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズは保育施設 4 施設の運営を株式会社T-Kidsに承継する吸収分割を行い、株式会社T-Kidsの全株式を株式会社SHINKSへ譲渡いたしました。

- (1) 譲渡先企業の名称
株式会社SHINKS
 - (2) 譲渡する事業の内容
東京都認証保育所 4 施設
 - (3) 譲渡完了日
2024年 4 月 1 日
 - (4) 譲渡価額
28百万円
- 最終的な譲渡価額は、株式譲渡契約に定める価格調整を反映して修正されます。